

問1 現代社会では、資源の枯渇やゴミ処理場の不足が深刻な課題となっています。これに対し、リサイクルなどの活動を通じて資源を効率的に活用し、環境への負荷をできる限り抑えようとする社会の仕組みを何といますか。（2023年 福井公立入試 類似）

1. 循環型社会 2. 脱炭素社会 3. 高度情報通信社会 4. ユニバーサルデザイン社会

問2 国際社会において、発展途上国の生産者が公正な価格で取引できるよう支援する「フェアトレード」が重視されている背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 茨城公立入試 類似）

1. 不当に安い価格での取引を改善し、生産者の経済的な自立と生活水準の向上を促すため 2. インターネットを通じて世界中から広く資金を集め、新しい技術開発を促進するため 3. 消費者が契約後に一定期間内であれば無条件で解約できる権利を保障し、消費生活を守るため 4. 先進国の高度な技術を途上国へ無償で提供することで、短期間での工業化を支援するため

問3 東京二〇二〇大会では、全国の自治体から提供された木材を選手村の施設に使用し、大会終了後にそれらを再び各地域へ戻して公共施設などで再利用する取り組みが行われました。このような「資源を循環させる取り組み」が目指している目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 新たな資源の消費を抑制し、廃棄物を減らすことで地球環境への負荷を軽減すること 2. 大量生産と大量消費をさらに促進し、工業化による経済成長を最優先すること 3. 一度使用した資源はすべて廃棄し、常に新しい素材を導入することで利便性を高めること 4. 自然界の浄化能力を無視してでも、都市部での建設コストを最小限に抑えること

問4 持続可能な社会を実現するための取り組みとして、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」の削減が求められています。この食品ロスを減らすための具体的な企業活動として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 季節商品の需要を事前に把握し、過剰な生産を抑えるために予約販売を行う 2. 賞味期限が切れた食品をすべて焼却処分し、衛生管理を徹底する 3. 輸入食品の関税を高く設定することで、国内の農産物の消費量を増やす 4. プラスチック製の包装容器を増やし、食品の鮮度を長期間保てるようにする

問5 日本のエネルギー問題に関する記述として、近年の発電状況を正しく説明しているものはどれですか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 二酸化炭素の排出量を抑えるため、化石燃料を使用しない水力発電が発電電力量の約7割を占めるようになった。 2. 安定した電力供給のために、石炭や天然ガスなどを燃料とする発電方法が、現在も発電電力量の最大を占めている。 3. 再生可能エネルギーの急速な普及により、2019年時点では太陽光発電が日本の電力供給の半分以上を支えている。 4. 資源の少ない日本では、明治時代から一貫して原子力発電が最も主要な発電方法として利用されている。

問6 かつての日本は高度経済成長を通じて豊かな生活を実現しましたが、一方で「大量生産・大量消費・大量廃棄」によるゴミ問題や資源枯渇が深刻化しました。これを受け、持続可能な社会を築くために「循環型社会」が目指されるようになりました。循環型社会が従来の社会構造と異なり、最も重視している考え方はどれか。（2024年 佐賀公立入試 類似）

1. 資源を一度きりの利用で終わらせず、3Rによって環境負荷を抑えながら循環させる 2. 経済成長を最優先し、新しい製品を次々と購入して古いものを積極的に廃棄する 3. ゴミの処理費用を抑えるため、分別の手間を省いてすべて埋め立て処分にする 4. エネルギー効率を高めるために、すべての市民活動を制限して消費をゼロにする

問7 コーヒー豆や綿製品などのパッケージに、特定の認証ラベルが付与されていることがあります。これは、生産者が正当な報酬を受け取り、持続可能な生活を送れるような仕組みで取引されたことを示すものです。このような活動が重視される背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 生産者が持続可能な生活を送れるよう、不当に安い価格での取引を避け、適切な価格で継続的に購入するため。 2. 先進国の企業が利益を最大化させるために、輸入にかかる関税をすべて撤廃し、自由に取引を進めるため。 3. 国内の農業や産業を外国製品から守るために、輸入品に対して高い関税をかけ、輸入量を制限するため。 4. 経済的な格差を是正するために、政府が直接的に多額の資金を途上国へ無償で提供するため。

問8 政治分野や企業の管理職における男女間の差について、性別による差別や偏見をなくし、相互理解を深めることが重要であると指摘されています。このような背景のもと、持続可能な開発目標（SDGs）の目標5として掲げられているものはどれですか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

1. ジェンダー平等を実現しよう 2. 働きがいも経済成長も 3. 平和と公正をすべての人に 4. 人や国の不平等をなくそう

答え合わせ・解説

| | | |
|----|--|--|
| 問1 | 答え 1 循環型社会 | 大量生産・大量消費・大量廃棄という従来の経済活動を見直し、資源を有効に繰り返し使う社会を循環型社会と呼びます。この仕組みを構築するためには、生産者によるリサイクルしやすい製品設計と、消費者による分別・排出といった協力が不可欠です。 |
| 問2 | 答え 1 不当に安い価格での取引を改善し、生産者の経済的な自立と生活水準の向上を促すため | 従来の国際貿易では、立場の弱い発展途上国の生産者が、先進国の市場原理によって極めて低い価格での販売を強いられる課題がありました。この仕組みは、生産者が正当な対価を受け取ることで貧困から抜け出し、自律的に教育や環境保全に投資できる環境を整えることを目的としています。持続可能な開発目標（SDGs）における「貧困をなくそう」などの目標達成に直結する重要な取り組みです。 |
| 問3 | 答え 1 新たな資源の消費を抑制し、廃棄物を減らすことで地球環境への負荷を軽減すること | 各地から集めた木材を大会後に返却して再利用するフローは、資源を一度の利用で終わらせない「循環」の象徴的な事例です。このような取り組みは、森林資源の再生を助け、廃棄による環境負荷を抑えることを目的としています。持続可能な社会（サステナブルな社会）の実現に向けた具体的なアクションとして位置づけられています。 |
| 問4 | 答え 1 季節商品の需要を事前に把握し、過剰な生産を抑えるために予約販売を行う | 食品ロスを減らすためには、発生した廃棄物をどう処理するかよりも、そもそも廃棄物を出さない「発生抑制」が重要です。予約販売は、消費者が注文した分だけを製造・販売する仕組みであるため、売れ残りによる廃棄を物理的に減らすことができます。これは、限られた資源を有効に活用する循環型社会の形成に寄与する取り組みです。 |
| 問5 | 答え 2 安定した電力供給のために、石炭や天然ガスなどを燃料とする発電方法が、現在も発電電力量の最大を占めている。 | 日本の発電構成（電源構成）において、最も大きな割合を占めているのは火力発電です。火力発電は、輸入した化石燃料を利用することで天候に関わらず出力を調整できる利点がありますが、一方で燃料価格の変動や地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出といった課題を抱えています。 |
| 問6 | 答え 1 資源を一度きりの利用で終わらせず、3Rによって環境負荷を抑えながら循環させる | 従来の社会は資源を一方通行で消費して廃棄する仕組みでしたが、循環型社会は資源を有限なものとして捉え、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を通じて可能な限り資源を有効活用し続けることを目指します。これにより、天然資源の消費抑制と環境負荷の低減を両立させることが、持続可能な社会を形成するための核心的な目的です。 |
| 問7 | 答え 1 生産者が持続可能な生活を送れるよう、不当に安い価格での取引を避け、適切な価格で継続的に購入するため。 | 国際的な市場取引においては、弱い立場にある途上国の生産者が生産コストを下回る価格での販売を強いられることがあります。認証ラベルは、消費者が「公正な価格」で取引された商品を選択できるようにすることで、市場を通じた途上国の支援を可能にしています。 |
| 問8 | 答え 1 ジェンダー平等を実現しよう | SDGsの目標5は、性別によるあらゆる差別を撤廃し、女性や女兒の能力を強化（エンパワーメント）することを目指しています。特に政治分野や意思決定を行う管理職において男女間の差がある現状を解消し、誰もが平等に社会参画できる環境を整えることが求められています。 |